

要 望 書

平成20年5月12日

北総線運賃問題対策協議会

北総線の運賃に関する要望書

貴社におかれましては、千葉ニュータウンと都心を結ぶ唯一の公共交通機関として、常日頃より利用者である沿線住民の利便性の向上にご尽力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

また、貴社一丸となった旅客誘致策として企画乗車券の発売や各種イベントの開催など、鉄道の輸送人員や旅客運賃収入の増加策の取り組みに対しましても心より敬意を表します。

さて、貴社の経営状況を拝見しますと、千葉ニュータウン区域における大型ショッピングセンターの開業や沿線地域への入居の増加、また、旅客運賃収入増加策等により、平成12年度から7年連続で経常利益は黒字となっており、平成19年度上期決算においても利用者数、旅客運輸収入とも高い伸びを示しております。

一方、過去の膨大な線路敷設費等に起因する毎年の負債償還は、貴社の大きな負担となっており、また、貴社が千葉ニュータウン鉄道株式会社に支払っている運賃収入相当額という線路使用料は、貴社が小室駅と印旛日本医大駅間の鉄道運行事業から利益を生み出せないという苦しい状況を作り出しており、このようなことが要因となり、北総線の運賃は極

めて高額に設定されていると認識しております。

当協議会としては、このような状況に鑑み、これまで沿線住民の切なる願いとして、貴社に運賃値下げの要望を行ってまいりましたが、いまだ実現に至ってはおりません。

貴社の経営状況は依然として厳しいものであることは十分承知しておりますが、平成22年度の成田新高速鉄道の開業(予定)や千葉ニュータウンを含めた沿線開発の進展など、様々な環境変化も起きており、今後、貴社の経営に有利に働く要素も見受けられます。

以上を踏まえ、当協議会として次の事項について要望いたします。

1. 鉄道運賃の値下げについて配慮願いたい
1. 通学定期割引率の引き上げについて配慮願いたい
1. 成田新高速鉄道の開通に伴う線路使用料の協議等の際には、過去の線路敷設費用が、利用者間において公平な負担となるよう配慮願いたい
1. 千葉ニュータウン鉄道株式会社への線路使用料見直しの働きかけについて配慮願いたい

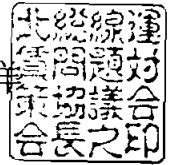
平成20年5月12日

北総鉄道株式会社

代表取締役社長 亀 甲 邦 敏 様

北総線運賃問題対策協議会

会長 印西市長 山 崎 山 洋



北総線運賃問題対策協議会

団体名	職名	氏名	備考
印西市	市長 議長	山崎 山洋 出山 國雄	会長
白井市	市長 議長	中村 教彰 石田 信昭	副会長
印旛村	村長 議長	佐藤 榮一 小川 勇	監事
本埜村	村長 議長	小川 利彦 大塚 輝男	監事